

キーワード（新感染症の基礎知識「筒井書房」から）

流水に勝る消毒剤はない

感染が起こるのは、菌の数が一定量を超えた時。
菌数を減らすことが感染防止につながる。
流水で菌を洗い流すことは、最も身近で有効な感染防止対策。

手洗いを確実な方法で

できるだけ石鹸を使う。
流水下で強めにもみ洗いすれば短時間でほとんどの菌は除去できる。

もみ洗いの基本

- 1・手のひらをよくこする
- 2・手の甲をこすり洗い
- 3・指先を入念にこする（爪先）
- 4・指の間を十分に洗う
- 5・親指と手のひらをねじり洗い
- 6・手首も洗う

消毒剤使用時

消毒剤を使うときにも、
まず流水で洗ってから使ったほうが効果的。

肝炎について

HBs・HBe・HCVの意味

1. Hは肝炎
2. BとCはB型とC型
3. Vはウイルス

感染予防のための基本的事項

1. B型もC型も血液を介して感染します。
2. 分泌液、唾液、汗、精液などにもウイルスは存在しますが、ごくわずかで、感染力はほとんどありません。
3. 手などに血液や分泌液、排泄物が付着したとしても、健全な皮膚であれば感染の心配はありません。
皮膚にヒビ割れ、傷などがあればそこからウイルスが侵入するので危険です。
4. 肝炎ウイルス（+）の人や、その可能性が強い人の処置はできるだけゴム手袋着用の上で行うのが無難です。
ゴム手袋は破れたりしなければ洗浄・消毒して何回も使用できます。

B型肝炎から身を守るために

1. 感染を受ける危険性が高い人
HBワクチンをあらかじめ接種しておく。
・初回・1ヶ月・6ヶ月の三回、皮下注射します。
・90%の人に抗体（抵抗力）が出現します。
・女性は男性より、また若年者は高齢者よりも抗体ができやすい。
・いったん抗体ができても時間とともに弱くなります。
2. ウイルスに汚染された場合
速やかにHBIG（抗HB免疫グロブリン）で対応します。
・ただし、自分がHBs抗原（+）またはHBs抗体（+）の場合はその必要なし。
・HBs抗原（-）でHBs抗体（-）の人の場合は、48時間以内にHBIGを筋肉注射する必要があります。

いずれにしても、すぐにドクターに相談しましょう。

…来月に続く。